

2006年12月26日

## 街でも使えるETCの「陸」「海」「空」でのサービス導入について

### ～高速道路専用ETCの利用車番号開放における民間事業者登録第一号認定取得～

三菱商事(住所:東京都千代田区、社長:小島順彦)は、今年11月の神戸—高松間でフェリーを運航する「ジャンボフェリー」におけるETCを利用した自動決済型乗船システムの運用実験開始に続いて、民間有料道路(観光道路)並びに空港施設においても、IBAサービスを導入します。海運業界はもとより、日本の民間有料道路(観光道路)及び空港施設で、ETC(自動料金收受システム)応用サービスが導入されるのは初めてです。

#### 1. IBAサービス

IBAサービス(呼称「街でも使えるETC」)は、高速道路での料金支払いに使われるETC(自動料金收受システム)をさらに広域展開させ、百貨店の駐車場で自動入退場や駐車料金決済、ガソリンスタンドでの自動決済、さらに店舗情報の提供などに幅広く活用できるサービスです。当社の子会社であるITS事業企画株式会社(本社:東京都千代田区、社長:小池建四郎)が、DSRC(狭域無線)という5.8Ghz(ギガ・ヘルツ)の無線通信規格に対応する多機能ETC車載器を利用者に販売し、サービスを運営します。

#### 2. サービス導入の背景

##### (高速道路専用ETCの利用車番号開放における民間事業者登録第一号認定取得)

今回のサービス導入は、今年3月の国土交通省の決定により、高速道路専用ETC車載器の利用車番号が民間事業者に開放されたことによるもので、ITS事業企画は民間サービス事業者登録の第一号認定を取得し、その第一弾として今年11月にジャンボフェリーでのサービスを開始しました。今回、サービスが導入される施設では、ITS事業企画の多機能ETC車載器はもとより、高速道路専用のETC車載器でも、利用者がITS事業企画に会員登録することで、ハンズフリー自動入退場や自動決済サービスを受けることができます。

### 3. サービスが導入される施設

#### ・フェリー（「海」）

神戸—高松間でフェリーを運航する「ジャンボフェリー」（社名：ジャンボフェリー株式会社、本社：兵庫県神戸市、社長：宮本嘉明）におけるETCを利用した自動決済型乗船システムの運用実験を今年11月に開始しました。

フェリーの乗船手続きでは、これまで利用者は一旦フェリー乗り場で下車した後、切符売り場で申込書の記入や車検証の確認、乗船券の購入が必要で、乗船までに約15分かかりました。今回のETCを利用した自動決済型乗船システムでは、乗船入場口に設置された専用機器が車載器番号を読み取り、手続きと支払いが自動的に行われ、15分かかっていた手続きはわずか15秒と、大幅に短縮されることとなります。

11月28日のサービス開始後、利用者よりすでに約500件の登録申込みがあり、年末年始の利用者増加に伴い、大幅な登録増を見込んでいます。

#### ・民間有料道路（「陸」）

神奈川県小田原市から箱根町を經由し、同県湯河原町に至る民間有料道路（観光道路）の「箱根ターンパイク」（社名：箱根ターンパイク株式会社、本社：神奈川県小田原市、社長：橋本武寛）でのIBAサービスを2007年2月頃より開始します。

民間有料道路でのIBAサービス導入は日本で初めてとなります。事前の会員登録を行えば、料金所では一旦停止を行うだけで、ハンズフリー&キャッシュレスのサービスを受ける事が出来ます。

#### ・空港ターミナルビル（「空」）

兵庫県神戸市の「神戸空港ターミナルビル附設駐車場」（社名：神戸空港ターミナル株式会社、本社：兵庫県中央区、社長：森井章二）でのIBAサービスを2007年4月に導入の予定です。交通ストレスの高まる都市商業・交通施設における周辺環境の改善や慢性的渋滞の低減につながる事が期待されます。

なお、神戸空港ターミナルビル附設駐車場でのIBAサービス実施に先立ち、株式会社日本航空とは、11月15日より12月14日まで関西地区在住のJMB(JAL MILEAGE BANK)メンバーに対し、多機能ETC車載器プレゼントキャンペーンを実施しました。メンバーの関心は非常に高く既に予想を上回る応募を頂きました。

ITS事業企画では、第二弾として、神戸空港利用者に対するプレゼントも企画中です。

以上